

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市あおぞらホーム	
2 指定管理者	社会福祉法人なのはな会	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 2,490人(前年度比82.9%) 令和4年度 3,004人(前年度比91.7%) 令和3年度 3,277人(前年度比79.1%)	
	《事業》 児童発達支援事業	
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 41,793千円 (37,779千円) ・ その他市が負担した費用 316千円 (245千円)	()は前年度決算額
	《収入》 ・ 使用料収入 39,749千円 (42,803千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年12月～令和6年1月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の保育所・幼稚園等の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。 また、各種マニュアルの整備や、毎月の避難訓練のほか、近隣の支援学校や社会福祉施設との合同訓練を実施しており、利用者の安全に配慮した運営に努めている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	清掃・衛生管理・施設の保守点検は適切に行われており、利用者が快適に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、定期的な職員会議や研修により人材育成を図るとともに、情報共有に努め、職員全体でのサービス向上を目指している。 説明の仕方を工夫し、わかりやすく丁寧な説明を心掛けている。	27/27
V 施設固有の基準	個別支援計画について、利用者1人1人の障害特性に寄り添い、詳細に作成している。 また、専門職員の配置を生かし、保護者からの健康相談に対応するなど、安心して通園できる環境を整えている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》
<p>アーチルと連携しながら、親子がタイムリーに入園できるように努めてきた。療育については個別支援計画の内容や親子保育の取り組み方等を見直し、より良い親子通園の療育について深めようと努めている。また、隣接の仙台市なかよし学園からのOT(作業療法士)派遣は継続し、定期的に療育に参加して専門的な視点を取り入れた支援を進めてきた。他にも仙台市なかよし学園の看護師との連携も行き、医療的ケア児の状況の共有や緊急対応等に努めた。</p> <p>【発達支援】 園児の安心と安全を基盤として楽しみに通える場所になれるよう、担任保育士との関係構築や、児の発達や願いに沿ったあそびの充実等を大切にしながら取り組んできた。令和5年度は医療的ケア児や肢体不自由児が多い年ということもあり、改めて児の安全・安心につながる緊急対応、職員の連携、基本的な学びに努めた。</p> <p>【移行支援】 各々の園児の進路について保護者と話し合いながら進めてきた。プラス支援保育等についての勉強会や見学会を行い、また進路面談を通して児の発達状況や園の考えを伝えながら保護者が決めることができるよう支援している。</p> <p>【家族支援】 親子で通園することを通して児が変化していく姿を、職員との間だけではなく保護者間で共有し喜び合えるよう心掛け、悩みを含めて共感し合えるような保護者同士のつながり作りに努めてきた。家族からの相談に対しては、関係機関との連携や他職種との連携をしながら、タイムリーな面談を心掛けてきた。</p> <p>【地域支援】 地域の保育所や幼稚園、こども園へ施設支援を実施した。令和4年度より継続して地域の発達に心配のある子どもと保護者を対象にあそびの広場を実施したり、関係機関の支援者を対象とした勉強会を実施するなどして、児童発達支援センターの地域相談員協働の取り組みも強化している。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>発達支援においては、児童1人1人の発達や障害特性に応じた療育を行うための工夫がなされている。また、地域の子育て支援センターと定期的なケース検討会を行ったり、幼稚園・保育所等との情報共有や交換研修を実施するなど、地域の中で児童発達支援センターとして求められる役割を果たすため、積極的に地域支援に取り組んでいる。</p> <p>家族支援においては、保護者との個別面談や勉強会を定期的に開催するなど、保護者の不安や悩みに寄り添い、相談しやすい体制を整えている。</p> <p>以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課